

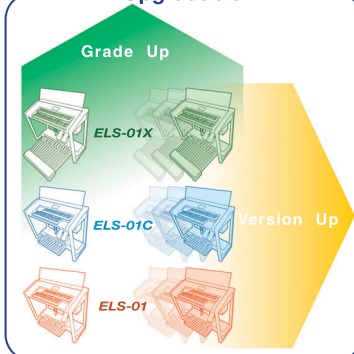
Electone® STAGEA®

ELS-01/01C/01X バージョン1.7 クイックガイド

バージョン1.7の追加機能

1. MDR画面がより見やすく、操作性も向上 / 譜面表示機能の追加
2. レジストセクションコピー機能が追加
3. ディスエーブルモードの追加
4. リズムシーケンスコピーモードの追加
5. サステインの設定内容の変更
6. オルガンフルートにエフェクトページが追加 (ELS-01C/ELS-01X)
7. ボイスエディット画面が見やすく、操作性も向上
8. MIDIコントロールへの設定項目追加
9. リズムパターンプログラムのアセンブリー機能の変更

Upgradable



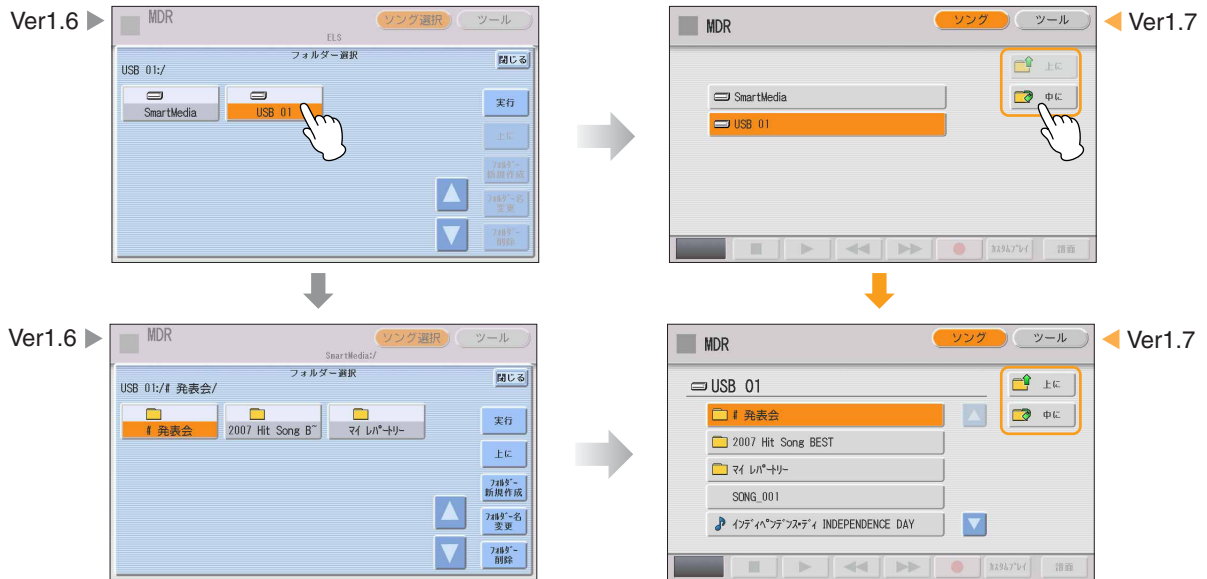
ずっと、使える。

このSTAGEAと、いつまでも。

楽器は使うほどに愛着が湧くもの。だから、STAGEAはいつまでもお使いいただけるように、さまざまな工夫をしました。ひとつは、グレードアップ。演奏のレベルに合わせて、より豊かな表現ができるモデルへとユニットを追加・交換していくことができます。またひとつは、バージョンアップ。時代の変化に合わせて、最新の機能を追加していくことができます。あなたの大切な一台は、ずっとあなたのそばにいます。

1. MDR画面がより見やすく、操作性も向上/譜面表示機能の追加

フォルダーやソングの表示



ここが
ポイント
Ver1.7

- メディアやフォルダー、ソングが縦一列に表示され見やすくなりました。
- 同じ階層にフォルダーとソングがある場合は、同じ画面上に一覧表示され、探しやすくなりました。
- フォルダー名やソング名の最初の文字が記号※1→数字→アルファベット→カナ/かな※2→漢字/その他の記号の順番で並びます。
 - ※1 先頭1文字目の半角*(アスタリスク)はその対象になりません。
 - ※2 「カナ/かな」は、あいうえお順で半角カタカナ、全角カタカナ、ひらがなの順になります。例: ア→ア→あ→イ→イ→い
- 長いフォルダー名や曲名も表示されます。

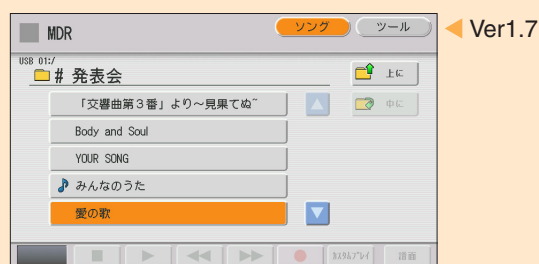
なお上記の曲順表示の変更項目は、一般に発売されている楽譜対応データにも同様に適用されます。

ソングの表示順序について

Ver1.7でのソングを選ぶ手順を確認しておきましょう。例えば、Ver1.6で①のように表示されていた画面が、Ver1.7では②のように表示されます。Ver1.7では、同じ階層にフォルダー、ソングやレジストが混在する場合、どちらも表示されます。



Ver1.7では、ソング名がソート表示されて、Ver1.6とは並び順が異なります。



ソング名の前に「001」や「ア」などを付けると、表示順序を変えることができます。

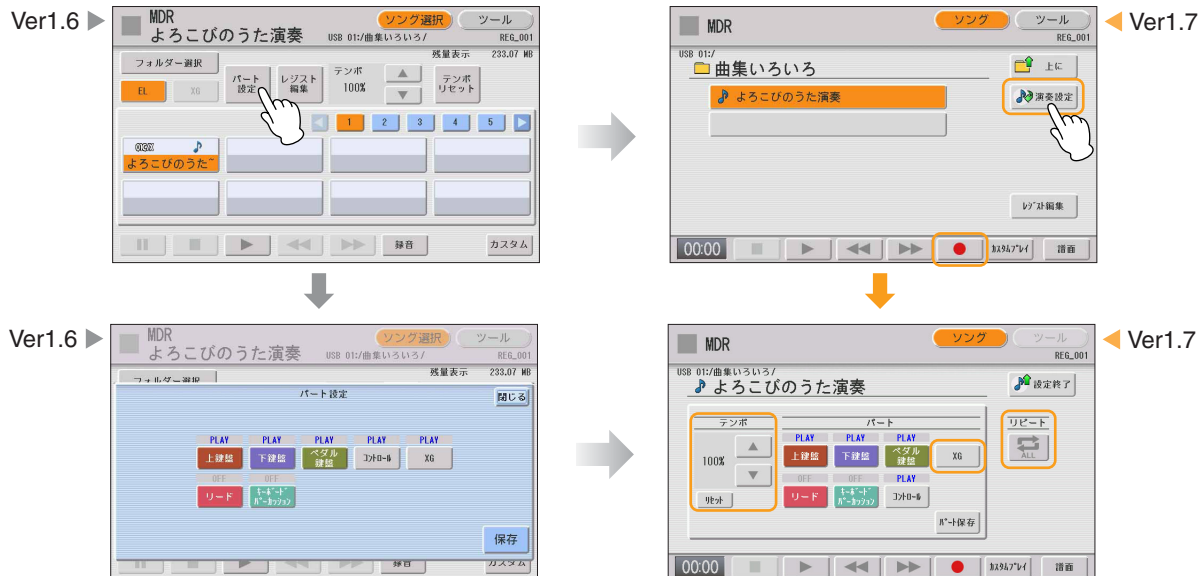


([▲]/[▼]ボタンまたはデータコントロールダイヤルでスクロールできます。)

バージョン1.6以前のELS-01/01C/01Xで、ソング名がないデータや同一ソング名のデータが同一フォルダーに複数入っている場合、バージョン1.7にバージョンアップする前にソング名を変更したり、フォルダーを作成して移動することをおすすめします。

※プロテクトオリジナルソング(市販データ)のソング名は変更しないでください。

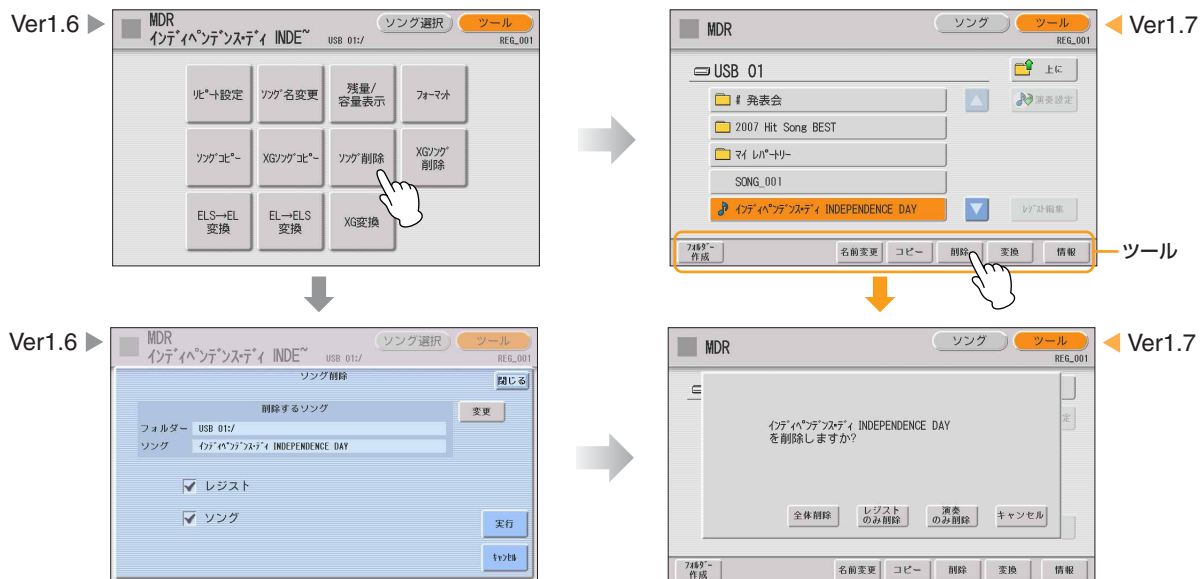
演奏設定



ここが
ポイント
Ver1.7

- [演奏設定] ボタンを押すと、再生時のテンポを変えたり、発音させたいパートを選択できます。また、リピートモード(シングル、オールなど)の選択、[XG]ボタンでボリューム変更、テンポチェンジも同じ画面で変更できます。
- 録音中に [●] (録音) ボタンを再度押すと、録音が中止され、曲の頭に戻り録音をやり直します。

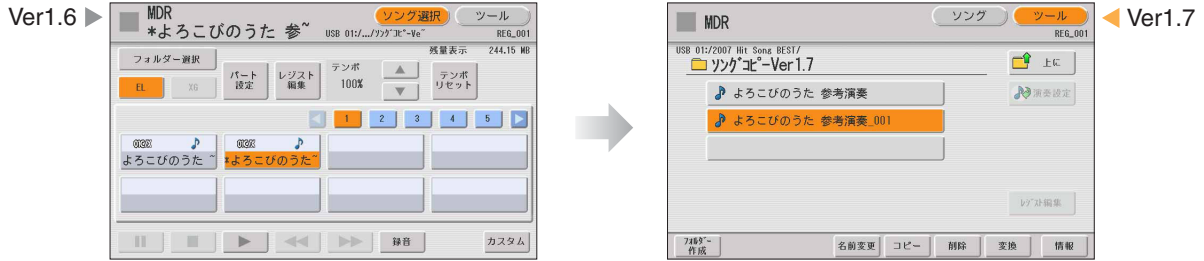
ツール選択



ここが
ポイント
Ver1.7

- [ツール] ボタンを押すと、今選んでいるメディア/フォルダー/ソングなど、それぞれに対応したメニュー(機能) ボタンが画面下に表示されます。
- 選択したソングを表示/確認しながら、コピーや削除などのツール機能が使用できます。

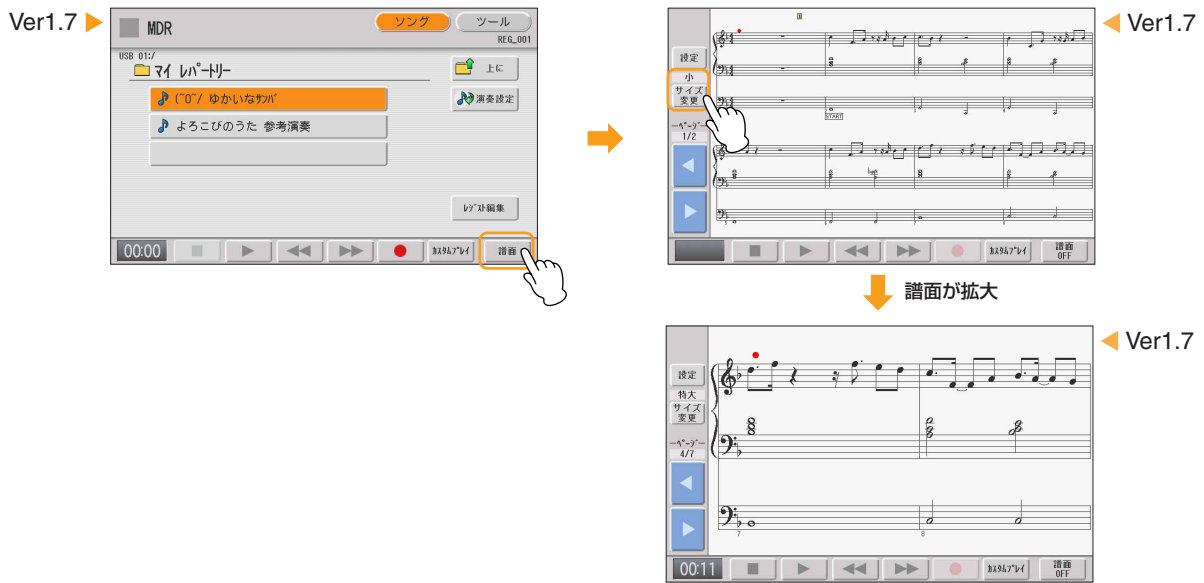
ソングコピー



ここが
ポイント
Ver1.7

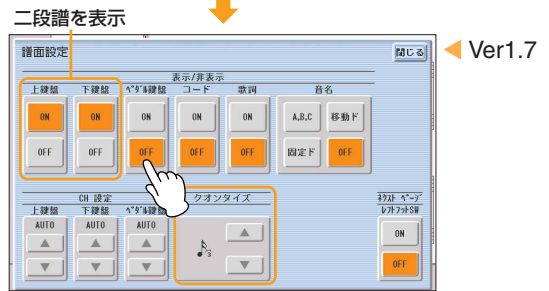
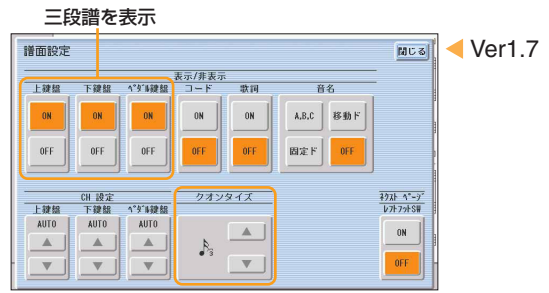
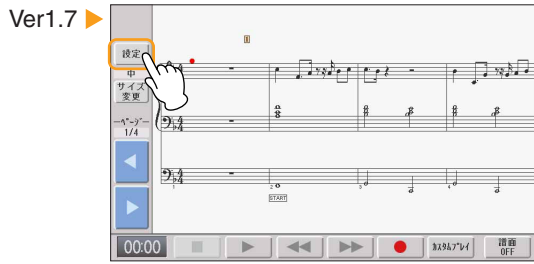
- ソングコピーを行なうと、ソング名のうしろに「_001」のように3桁の数字が表示されます。

譜面表示機能 **NEW!**



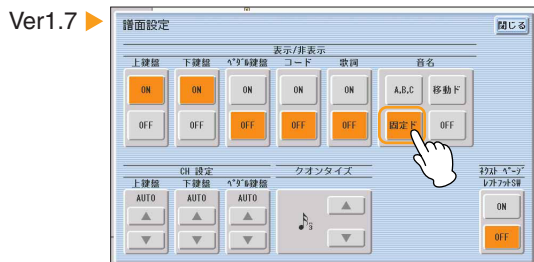
ここが
ポイント
Ver1.7

- 自分で録音した演奏データの入っているソングを選択し、画面右下の[譜面]ボタンを押すと譜面が表示されます。
- 画面左の[サイズ変更]ボタンを押すと、譜面サイズを小から特大まで変更できます。
- 画面左の[◀]または[▶]ボタンを押すと、譜面を進めたり戻したりできます。
- 画面下の[▶](再生)ボタンを押してソングを再生すると、演奏に合わせて音符上のカーソルが動き、自動的に譜めくりされます。
- 録音時にメモリーボタンを押すと、譜面にメモリーナンバーが表示されます。



ここが
ポイント
Ver1.7

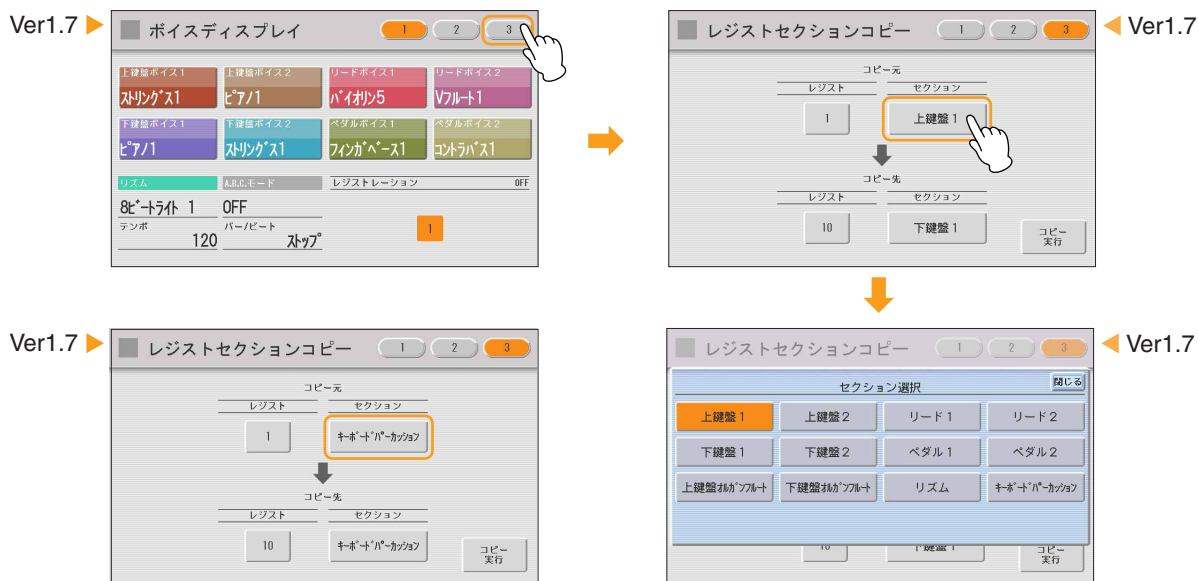
- 譜面画面左上[設定]ボタンを押すと、様々な表示切替ができます。
- 上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のON/OFFで一段～三段譜を表示できます。
- クオンタイズは、[▲]または[▼]ボタンを使って、表示する音符の細かさを選択できます。



ここが
ポイント
Ver1.7

- 音名の[移動ド]、[固定ド]、[ABC]のいずれかを選択すると、音符の左に表示されます。
- 市販のXFデータなどを使用すると、歌詞やコードネームも表示が可能です。

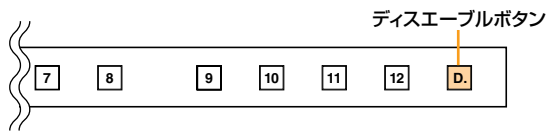
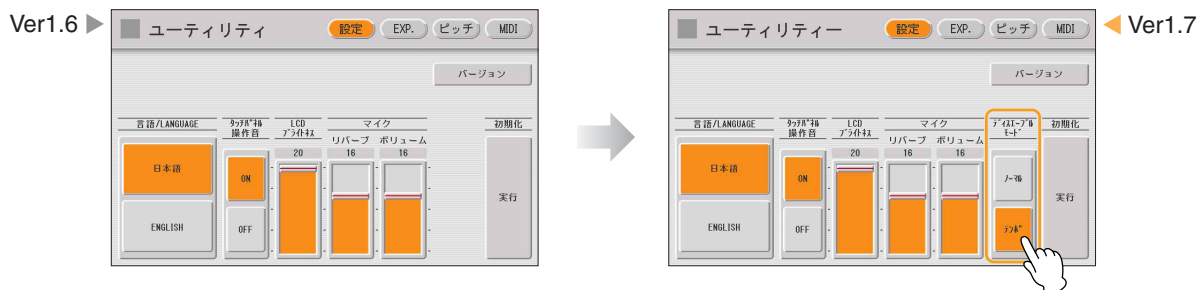
2. レジストセクションコピー機能が追加 **NEW!**



ここが
ポイント
Ver1.7

- ボイスディスプレイ画面に追加された3ページ目を押すと、レジストセクションコピー画面が表示されます。
- 12のセクションとレジストレーションメモリーを自由に選択でき、ボイスセクションの内容はまるごとそのままコピーされます。また、リズムやキーボードパーカッションもコピーでき、とても便利です。

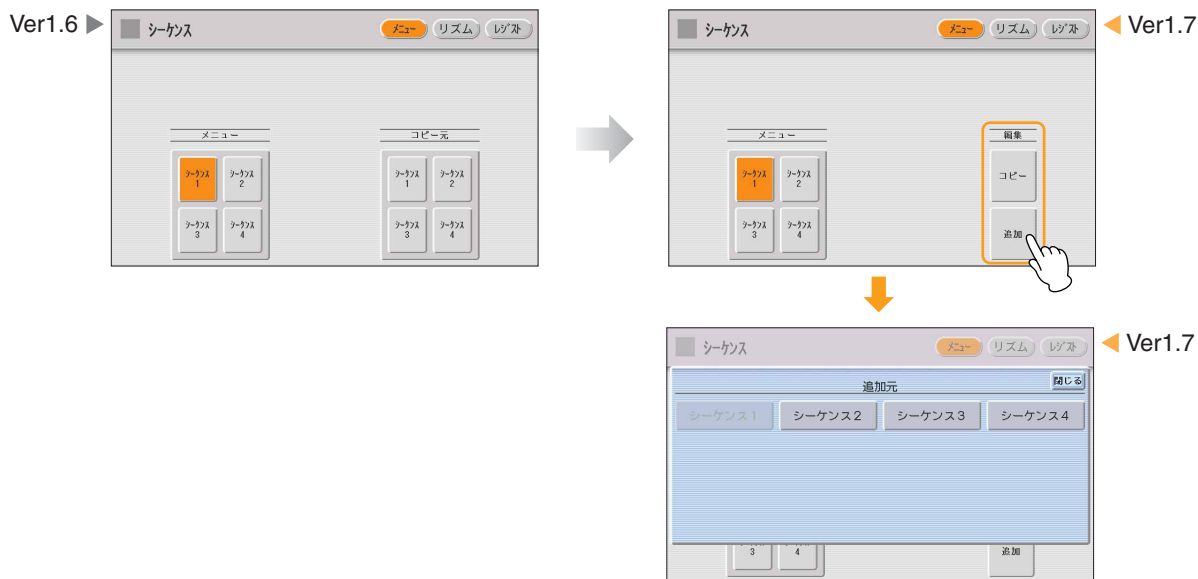
3. ディスエーブルモードの追加



ここが
ポイント
Ver1.7

- ユーティリティ画面の設定ページに、ディスエーブルモード[ノーマル]と[テンポ]ボタンが追加されました。
- テンポモードは、テンポのみがホールド(固定)され、その他の設定は影響を受けません。テンポのみを自分の好みに合わせて、遅くしたり早くしたりできます。レパートリー練習や即興など幅広い場面で利用できます。
- レジストレーションメニューにも有効です。

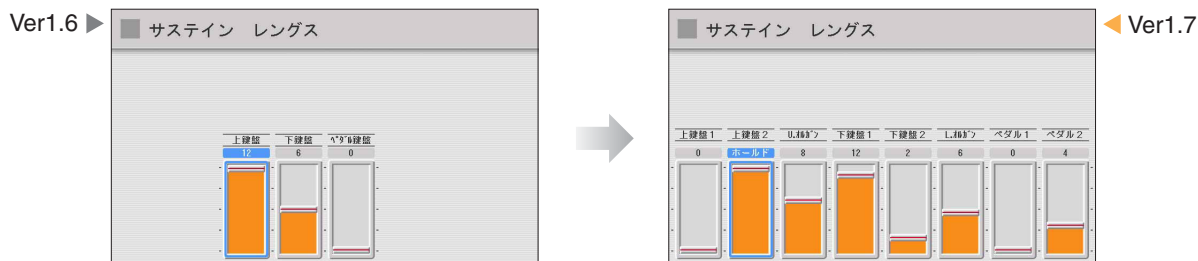
4. リズムシーケンスコピーモードの追加



ここが
ポイント
Ver1.7

- シーケンス画面に編集[コピー]と[追加]ボタンが追加されました。
- シーケンス画面の[追加]ボタンを押すと、各シーケンスの最後に任意のシーケンスを追加できます。
- 曲のサイズ変更など、編集作業にとっても便利です。

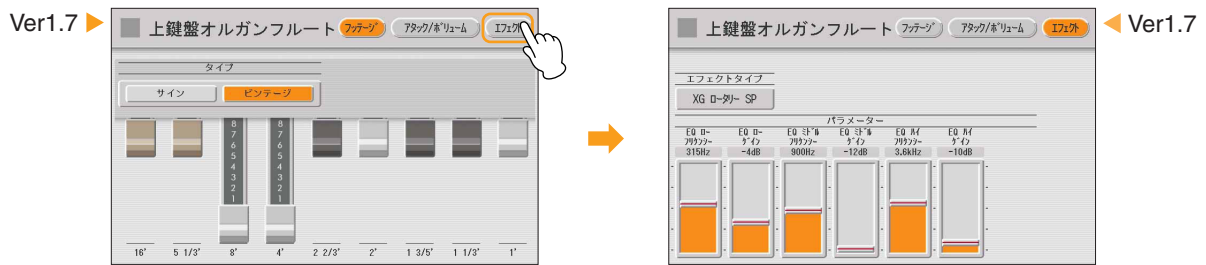
5. サステインの設定内容の変更



ここが
ポイント
Ver1.7

- サステインの長さは、各ボイスセクションごと(リードボイス以外の各ボイス)に設定可能です。
- サステインを最高値まで上げると「ホールド」に設定できます。ストリングスや木管などの持続音にホールドを設定すると、音が減衰せずに持続するので大変便利です。

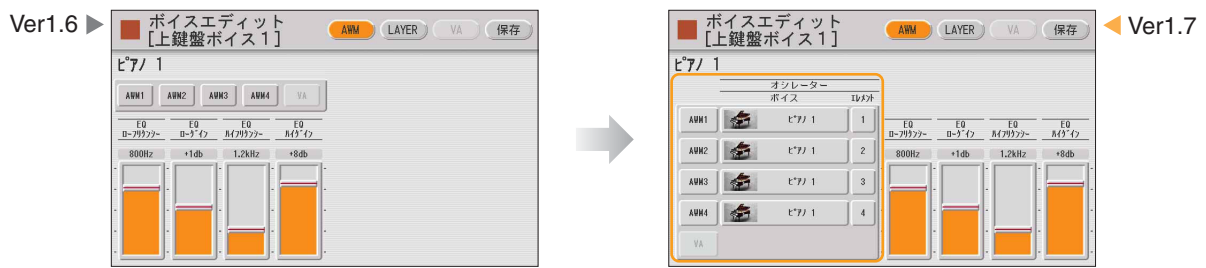
6. オルガンフルートにエフェクトページが追加(ELS-01C/ELS-01X)



ここがポイント Ver1.7

- オルガンフルート画面右上に[エフェクト]ボタンが追加されました。
- エフェクトページで、細かいパラメーターも設定できるようになり、よりパワフルなオルガンサウンドを演奏できるようになりました。

7. ボイスエディット画面が見やすく、操作性も向上

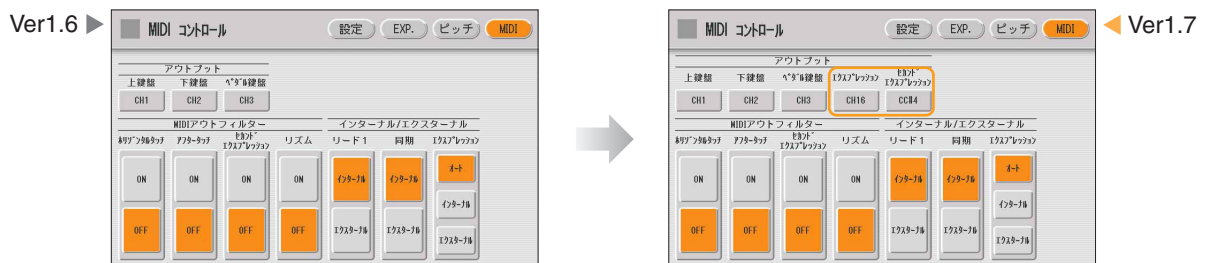


ここがポイント Ver1.7

- ボイスエディット画面のAWMページでは、楽器の 카테고리、エレメントなどが一覧表示され、ボイスの内容がわかりやすく、編集作業が行ないやすくなりました。

8. MIDIコントロールへの設定項目追加

ユーティリティ画面のMIDIページ、アウトプット設定セクションに、エクスプレッションペダル、セカンドエクスプレッションペダル(ELS-01C/01Xのみ)が追加され、外部機器との接続が便利になりました。



ここがポイント Ver1.7

- MIDIアウトプットの設定に、[エクスプレッション]と[セカンドエクスプレッション]ボタンが追加されました。
- エクスプレッション、セカンドエクスプレッションのOFF設定もでき、セカンドエクスプレッションは、ピッチバンド出力も可能になりました。

9. リズムパターンプログラムのアセンブリ機能の変更

リズムパターンプログラム画面のアセンブリ初期設定が変更され、より一層使いやすくなりました。



- ここがポイント Ver1.7**
- Ver1.6では、[アセンブリ]ボタンを押すとパートは[メインドラム]になりましたが、Ver1.7ではパートは[ALL]になります。
 - Ver1.6では、リズムパターンプログラムの編集に入るとリズムのボリュームがMAX.になりましたが、Ver1.7では編集に入ってもリズムのボリュームは変更されません。
 - Ver1.6では、パートはコピー先からでしたが、Ver1.7ではコピー元から変更できるようになり、作業しやすくなりました。また、コピー元のリズムはVer1.6では常に[マーチングバンド1]でしたが、Ver1.7では編集に入る際に選んだリズムが表示されます。